

まるりん通信

公益財団法人屋久島環境文化財団 TEL0997-42-2911 FAX0997-49-1018



1. むらせん祭り 日 時：平成29年7月23日（日）13：00～16：00

- ★オリジナル灯籠作り・・・ペットボトルで自分だけのオリジナル灯籠を作ろう！
- ★おもしろ自然工作・・・自然のもので発想豊かに、色々な工作を！
- ★オリジナルうちわ作り・・・うちわにお絵かき！夏に重宝するうちわ作り！
- ★まるりん撮影会・・・まるりんと一緒に写真を撮ろう！写真はそのまま缶バッジに！

参加費無料！
予約不要だよ！



- * 夜には灯籠展（18：30～）・かき氷無料提供（16：20～16：50・18：30～19：00）もやっているよ！ぜひ遊びに来てね！
- * 駐車場は、ライフセンターヤクデン第2駐車場をご利用ください。

2. 映画上映会 日 時：平成29年7月23日（日） 第1回目17：00～18：45 第2回目19：15～21：00



あらすじ：怒りんぼうのレッド（声優：坂上忍）は仲間外れでいつも一人ぼっち。ある日、ブタのピッグ集団が島に上陸。次々に大切なタマゴを盗み去り島は大パニックに・・・大切なタマゴを取り戻すため、バードたちはパチンコを駆使してフライングバトルに挑む！

【予約方法】

方 法：電話受付のみ（連絡先 42-2900）

予約期間：7月11日（火）14：00～（定員に達し次第終了）

※予約1件につき最大5名様までとなります。予約時に入場者全員の氏名が必要です。電話予約の際に、入場券受取り場所[村センター(宮之浦)または研修センター(安房)]をご指定していただき、下記期間中に、ご指定施設にて入場券をお受け取りください。

入場券受取期間：7月18日（火）～7月22日（土） 各日 10：00～17：00

※上映会当日入場券をご持参いただけない場合、ご入場できませんのでご注意ください。

無 料 『コムス体験試乗会』

村センターにて、超小型EVコムスの体験試乗会を開催します。屋久島の風を感じながら気持ちよく疾走しましょう！

日 時：平成29年7月23日（日）

受 付：13：30～

時 間：14：00～16：00



村センター交流ホール『屋久島の里を知ろう』展

期 間：平成29年7月1日（土）～7月23日（日）

時 間：9：00～17：00まで 入場無料

内 容：多くの人に屋久島の里の魅力を知っていただきたく、各集落の文化や行事、史跡等の展示をします。
第1回目は吉田集落です。ぜひご覧下さい。

【お知らせ】

・文化村センターは、7月、8月は全日開館します。

7月21日（金）～7月31日（月）の期間は島民感謝デー！村センターの観覧料が無料になります。この機会にぜひお越しください。

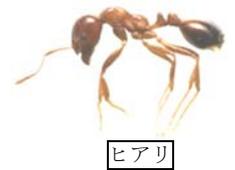
・研修センターは、7/3（月）7/31（月）8/7（月）8/14（月）が休館日です。



インストラクターだより

「ヒアリ～小さな生物、大きな被害～」 今村桜子

先月、兵庫県（尼崎市・神戸市）の港で「ヒアリ (*Solenopsis invicta*)」が見つかったニュースをみなさんはご存じでしょうか？ヒアリはもともと南米原産のアリですが、1930年頃に北米に、その後中国や台湾にも侵入し分布を拡大してきました。それがとうとう日本にも…屋久島にやってくる日もそう遠くないかもしれませんね。



ヒアリ

私たちの回りにいるアリの中にはハチのように針をもつアリもありますが、今回話題になっているヒアリは、特に強力な毒針をもち、大変攻撃的なアリです。これに刺されると激しい痛みだけでなく、アナフィラキシーショックを引き起こす危険性があるため、近寄ったり、触ったりしてはいけないといわれています。しかし、元々私たちの身の回りにはたくさんのアリがいて、どれも同じように見えるという方がほとんどだと思います。「これ、ヒアリかもしれない…」と怯えながら生活するというのも嫌ですよ。

そこで今回は「もしも」の時に役立つかも知れない、ヒアリの見分け方についてご紹介します。ヒアリの重要なチェックポイントは「腹柄節数=2節」、「触角棍棒部の節数=2節」です。腹柄節とは左図に示されているように胸部と腹部をつなぐ部分のことで1節もしくは2節からなります。ヒアリは大きく分けるとフタフシアリ亜科というくりに入るので、これが2節あるのが特徴です。次にヒアリの触角は、先端が棍棒のように少し太くなっています。この棍棒部分の節数がこれまた2節です。これらの特徴を併せ持つアリはかなり限られており、その中では色や大きさが異なるので区別することができます。ヒアリはつやがある赤茶色で体長は2.5mmから6mmとばらつきがあります。



屋久島にもオオキンケイギクやタヌキのように元々生息していなかった生物が多数みられます。外来種は一度入ってしまうと根絶はそう簡単なものではありません。一番重要なのは水際対策です。兵庫県と同じように屋久島にも港はあります。もしもにそなえて、脅威の特徴を頭の片隅に置いておいてはどうでしょうか。

ヒアリ画像：環境省 HP より (<http://www.env.go.jp/press/104185.html>)

参考文献：山根正気・原田豊・江口克之（2010）『アリの生態と分類—南九州のアリの自然史—』南方新社

財団活動報告

むらせん上映会6月24日（土）

屋久島電工株式会社様のご協力により、『ペット』を上映しました。

当日は、多くの方が、楽しいひと時を過ごし大盛況でした。

ご来場ありがとうございました。



研修センターオープンデー6月25日（日）

開館21周年記念「オープンデー」を実施しました。子どもから大人まで、自然や科学に対する興味・関心を高めてもらう目的で、ブースを作りました。

今年度は、面白い実験コーナー「人工のイクラやうごくスライム、シャボン玉づくり」、楽しい観察のコーナー「川の生き物や小さな虫の観察、鳥の羽観察やくちばしクイズ、鳥の塗り絵」など、昨年より種類を増やし、多くの人に満足してもらえるよう充実を図りました。

来年度のオープンデーへのご参加もお待ちしております。



屋久島を想う116

事業課 泊 裕一郎



里めぐり推進協議会
マスコットさとるくん

世界自然遺産の登録以降、屋久島の知名度は格段に上がり、豊かで多様な自然は、マスメディアを通じて、世界に発信され続けています。

しかし、屋久島にはもう一つの財産があります。それはここに住む人々が、大自然と共存しながら歴史を刻み、育んできた里の暮らしです。当財団では、その里の暮らしに注目し、ガイドブックには載っていない、集落の魅力を発信していく「里めぐり事業」を推進しています。

いつもは車で通過するだけだった集落の里めぐりに参加してみました。史跡を仰ぎ、歴史を知る。行事に触れ、文化を知る。工芸や水産などの産業を知る。地元の食材を使った素朴でどこか懐かしい料理をいただく。何とも楽しい語り部さんの話を聞きながら過ごす時間は格別でした。

年齢や体力に関係なく誰でも参加できるのも魅力です。休日の空き時間に、お近くの集落をめぐってみませんか。

現在、里めぐり事業として散策できる集落は、7集落です。多くの集落がこの事業にご賛同いただき、島全体の取り組みとして機運が高まれば最高です。

私自身、里めぐりという事業に携わる中で、新発見が増えていくことに感動する毎日です。自分の肌で触れて感じ、知り得たことを発信し、この島の財産が世界の資産として引き継がれるよう頑張りたいと思います。